

2016 年度 ノーツコンソーシアム  
ザ・ノーツ 研究会

*February 27, 2016*

*Tokyo Software & System  
Development Lab,*

*IBM Enterprise Social Solutions*

*Atsushi Sato ([aschan@jp.ibm.com](mailto:aschan@jp.ibm.com))*

# 研究会の目的と活動内容

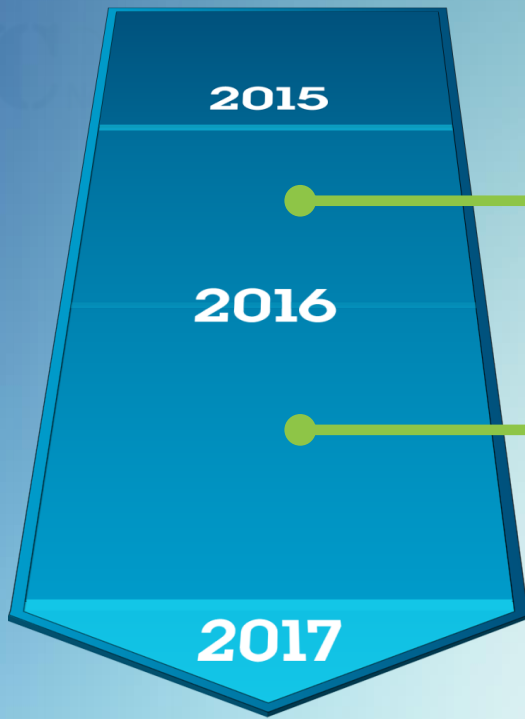
## 目的

- IBM Notes/Domino に関する理解を深め、より効果的な活用の実現につながる研究を行う

## 活動内容

- IBM Notes/Domino について包括的な研究を行う
  - IBM Notes/Domino NEXT について情報収集
  - オンプレミス v.s. クラウドについて考察
  - 効果的な活用方法や運用方法に関する研究
    - ・ 新機能の活用方法などを実証実験にて検証
  - 製品の不具合情報などの情報収集
- IBM Notes/Domino に不足している機能や情報の洗い出しを行う
  - 不足してる機能に関しては IBM に対して積極的なフィードバックを行う

# IBM Notes/Domino ロードマップ



XPages on Blumix (開発継続中)

Domino "NEXT"



IBM **Verse**

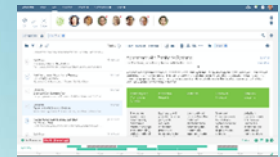


- Cloud
- Analytics
- Mobile
- Social

▪ Cognitive.NEXT

- Cloud
- Analytics
- Mobile
- Social

- Platform
- AppDev



IBM Verse - 2015



Notes V3 - 1993



IBM acquires Lotus - 1995

- Platform
- AppDev

# クラウド研究会

- 2015年のアンケートより



# クラウド研究会

## ■概要:

自社環境やお客様の環境を、円滑にクラウドに移行するために必要な情報を共有するとともに、より良い移行ステップと運用方法を研究します。

アプリを含めたハイブリッド環境を、どのように構築していくべきか、運用に対する懸念をどう取り除けるか、ベスト・プラクティスを探りましょう。

## ■主な活動内容:

- (1) IBM Connections Cloud, IBM SC Notes, IBM Verse の最新情報を理解する。
- (2) 関連するパートナー様の3rdパーティ製ツールの最新情報を理解する。
- (3) オンプレミスのIBM Notes/Dominoとの相違を理解し、移行に向けたステップを研究する。

## ■参加条件:

- (1) 原則、毎回 参加頂ける方（業務上、やむを得ない欠席を除く）
- (2) ご自身の立場として意見交換を通じて、チーム作業に協力頂ける方

# 2015 年 XPages研究会候補

以下のテーマの中から皆様の投票でテーマを決定します。

番号	テーマ、目的	活動内容	成果物	参加前提	備考
案1	<ul style="list-style-type: none"> <li>GitHub開発手法の習得</li> <li>サンプルアプリ開発 (モバイル、RDB連携、POI4XPages、REST から1または2つ) (ほか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GitHubを使ってのサンプルアプリをチームで開発する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GitHub使い方習得</li> <li>サンプルアプリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesアプリ開発経験者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート参加 (会社、自宅) 可能</li> <li>研究会に貢献度も明白</li> </ul>
案2	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルECサイト</li> </ul>				
案3	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPages関連ニックを</li> </ul>				
案4	<ul style="list-style-type: none"> <li>Notes/Dominoのモバイルアプリの提案</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Dominoアプリでモバイル化によるメリットの出るものを洗い出し提案書作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Dominoユーザーに対するモバイルアプリの提案書</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>技術者</li> <li>技術者以外</li> <li>XPagesモバイルを学ぶ意欲のある方</li> </ul>	
案5	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesを使用して新しい業務アプリを考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesを利用し、アプリとWebサービス連携の新しい形を考える</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>検討したアイデアのまとめた資料</li> <li>サンプルアプリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPages中級</li> <li>外部Webサービスの有知識者</li> </ul>	

昨年度の募集要項はこちら！

投票サイト: <http://bit.ly/1KRZdFT>

Forumの☆投票2015 XPagesテーマから希望のテーマに“いいね”を押してください。

投票期間: 2月20日-2月28日

# 2016年 XPages研究会候補

以下のテーマの中から皆様の投票でテーマを決定します。

番号	テーマ、目的	活動内容	成果物	参加前提	備考
案1	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluemixとの連携 (twilio, node-red関連) をやってみたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Bluemix上のサービスを使ってXPagesアプリとの連携方法について学ぶ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルアプリ</li> <li>Bluemix上へのアプリデプロイ方法</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesアプリ開発経験者</li> <li>Bluemixのアカウント取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート参加 (会社、自宅) 可能</li> </ul>
案2	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesアプリ開発の基礎学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesアプリの開発手法を学ぶ</li> <li>サンプルアプリの作成 (ハンズオン)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルアプリ</li> <li>XPagesアプリ開発手法の習得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Notesアプリ開発経験者</li> </ul>	
案3	<ul style="list-style-type: none"> <li>Twilioとの連携アプリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>Twilioを使ったXPagesアプリの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルアプリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesアプリ開発経験者</li> <li>Bluemixのアカウント取得</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート参加 (会社、自宅) 可能</li> </ul>
案4	<ul style="list-style-type: none"> <li>RDBとの連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>JDBCドライバを利用したXPagesアプリの作成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>サンプルアプリ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>XPagesアプリ開発経験者</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>リモート参加 (会社、自宅) 可能</li> </ul>

投票サイト: <http://bit.ly/1KRZdFT>

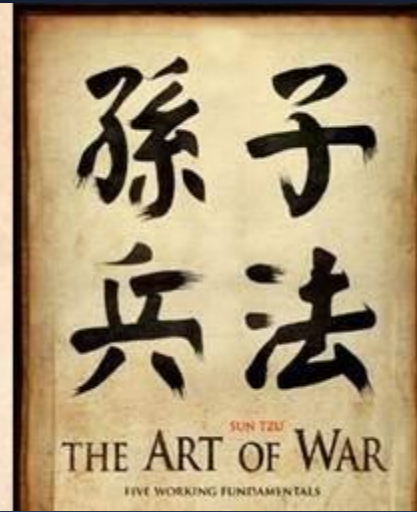
Forumの☆投票2016 XPagesテーマから希望のテーマに“いいね”を押してください。

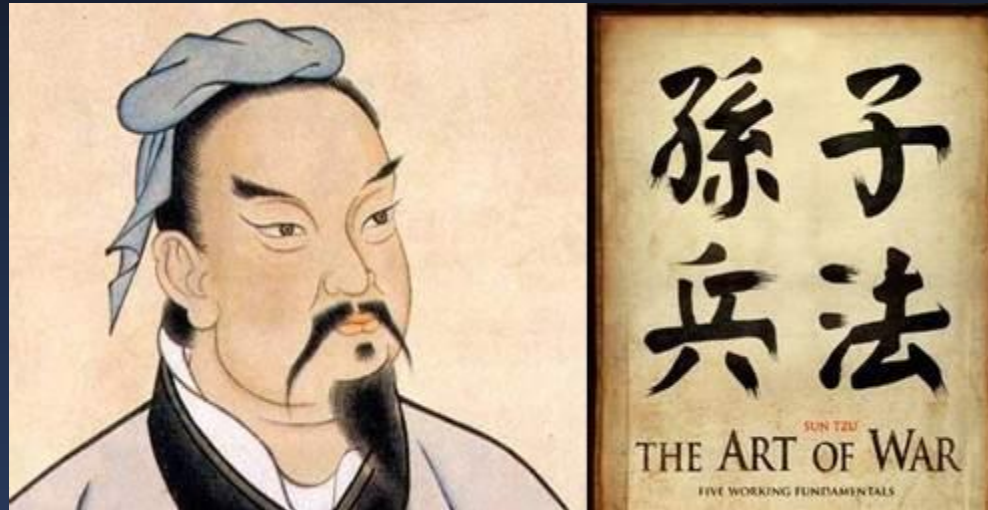
投票期間: 2月26日 - 3月4日





コンペ徹底研究 & 価値訴求プレゼンテーション塾





— 敵を知り、己を知れば、百戦危うからず —

know your enemy, know thyself, and you shall not fear a hundred battles

孫子の兵法（孫武）

企業や経営者にとって重要なビジネス動向とは？

VUCA時代の到来

# VUCA時代に求められる要素

[ VUCAの定義 ]

- Volatility: 不安定で変化が激しく
- Uncertainty: 先が読めず不確実性が高く
- Complexity: 複雑で
- Ambiguity: 曖昧とした世の中

# VUCA時代に求められる要素

[ VUCAの定義 ]

Volatility: 不安定で変化が激しく

Uncertainty: 先が読めず不確実性が高く

Complexity: 複雑で

Ambiguity: 曖昧とした世の中

変化が激しく、競合も激化。**競争優位**を確立する為には、**「他社との差別化」** + **「即断・即決・即行動」**が重要

× 今まで通りのやり方で、普通に、そこそこ 利用



○ 自社の強みをシステムに即反映。変化やニーズに対応し、ツールを徹底的に業務活用・徹底強化により**競争優位**を確立

# 競争優位性の探究



# 「コンペ徹底研究 & 価値訴求プレゼンテーション塾」研究会

## － 敵を知り、己を知れば、百戦危うからず －

### ■ 概要

コラボレーションを実現する、さまざまな製品やサービスを実際に体験したり、分析調査やディスカッション、チームで資料作成や各回のプレゼンテーション発表により、メンバー全員で楽しみながらスキルアップを目指す研究会です。

[ 主な活動内容 ] …… **参加者**のみなさまの「目的・ご意見・ご要望」により、本研究会の活動内容詳細・活動方針を決定・随時更新。

(出席率が低いと、ご要望は反映されにくくなります)

#### (1) 敵を知る

コラボレーション製品について主要な競合他社製品やサービスの特徴・強み・弱みを分析する  
(ゲスト講師やゲスト企業をお招きする会も調整予定)

#### (2) 己を知る

IBM/Social製品・サービスの価値や訴求ポイントを分析・ディスカッション強みのアピール および 弱点の補強、誤解の解消

#### (3) スキルを磨く (百戦危うからず)

上記(1)、(2)の活動を基に、分析結果 および 価値訴求 資料を作成し、プチ・プレゼンテーションによる発表を毎回行い、価値訴求スキルやプレゼンテーションスキルを磨く

### ■ 参加条件

- (1) 知識・経験 ゼロ でも大歓迎です！
- (2) **原則、毎回 参加頂ける方** (業務上、やむを得ない欠席は、前日までに事前連絡)
- (3) 自分の意志で参加したいと思っている方
- (4) ご自身の立場として(\*) 意見交換を通じ、チーム活動に協力頂ける方

※ 例：Notesユーザーとして

開発者として

管理・運用者として

ユーザー企業として

SIer/パッケージ・メーカーとして

超初心者/新人/新任/中堅/ベテラン/リーダー/管理職/経営者として等

異業種交流やワークショップ、  
チーム活動を通じてワイワイ・楽しく  
スキルアップしていきましょう♪

### ■ 参加メリット

- (1) 他社製品・サービス知識を身に付けられる
- (2) IBM Social 事業 製品・サービスの 最新情報 やトレンド を習得できる
- (3) 社内の稟議申請 (ユーザー企業) や 自社提案 (パートナー企業) において、IBM Social製品の価値訴求ポイントを習得できる
- (4) 効果的な価値訴求ができる「資料作り」や「プレゼン」スキルを向上できる
- (5) メンバー全員での異業種交流を通じて、楽しみながら活動できる

#### IBM レギュラー・メンバー



パートナー&ビジネス開発

鴨志田 喜弘

(かもした よしひろ)



Worldwide SWAT Team

平塚 博章

(ひらつか ひろあき)

開催頻度：毎月 1回 開催 / 原則 第 3 木曜日 PM / IBM本社事業所(箱崎) / リモート参加可能



2015「コンペ徹底研究&価値訴求プレゼンテーション塾」研究会 一同

# コンペ徹底研究 & 価値訴求プレゼンテーション塾

知識ゼロでも、スキルアップしたい方・参加意志がある方 歓迎！

※ 希望人数が多い場合は先着順とさせていただきます